

## SY7-1

## メディアにむしばまれる・世界一寂しい・自尊心の低い日本の子どもたち

田澤 雄作

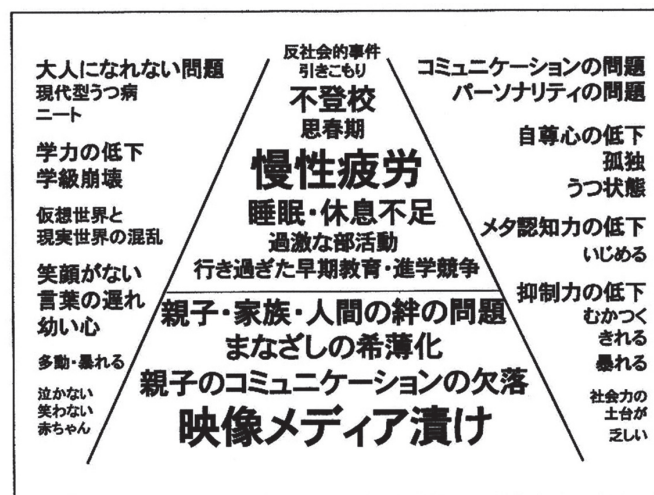
独立行政法人 国立病院機構 仙台医療センター 小児科

## ・ ネット（ゲーム・スマホ）依存は精神病～ WHO 2018

私たちには、その始まりが“赤ちゃんの時”である認識が求められている。江戸時代には「悪いものを見せないで、素直に育てる」子育ての知恵があったが、同じように現代の養育環境をよく観て、考え、判断し、行動することが求められている。現代の大人の30%は「依存になる」心配をしつつ、機嫌がよくなる、保育者の手からはなれる（好都合！）などを理由に、「依存」に無関心を装い、考えることなしに赤ちゃんにスマホなどを手渡している実態が（50%）。多くの大人は、時間が浪費され、依存が進行した或る日、子どもが年齢不相応に「きれて、暴れる」危険に曝される、あるいは「引きこもりや働くことができない」等、人間の子どもが自制心のある大人になれない問題に巻き込まれることを知らない。働くことができない（大人になれない）大学生がこの8年間（2016年）で20倍に急増したが、その背景には、現代の不適切な養育環境（行き過ぎた進学競争、過激な部活動）と長時間のパソコン・スマホ使用（依存）の問題があると考えられる。

## ・ 「世界一寂しい・自尊心の低い」日本の少年の背景にあるもの～慢性疲労

世界一寂しい（29%）、自尊心が低い（57%）日本の少年がいる。その背景には、不適切な養育環境（行き過ぎた進学競争、過激な部活動、長時間のパソコン・スマホ使用など）に付随する「休息不足・睡眠不足」による現代病である脳の疲労（慢性疲労）があると考えられる。競争社会の中では、学力に限らず、期待する結果はえられないのが大半の現実である。その時、その少年の心に生じるものは「寂しい」、「だめな私」という悲しい辛い心である。生来の素敵な脳の力（考える、想像する、集中力する、判断する、挑戦する）が奪われ（慢性疲労）、必死に生きる日本の少年の姿が見えてくる。



参考：メディアにむしばまれる子どもたち（教文館）2015